

平成24事業年度

決 算 報 告 書

自：平成24年4月 1日

至：平成25年3月31日

国立大学法人鹿児島大学

平成24年度 決算報告書

国立大学法人鹿児島大学

(単位:百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	16,596	16,542	△ 54	(注1)
施設整備費補助金	2,287	1,707	△ 580	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	463	585	122	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	72	72	—	
自己収入	23,470	25,055	1,585	
授業料、入学金及び検定料収入	5,996	5,978	△ 18	(注4)
附属病院収入	16,671	18,126	1,455	(注5)
財産処分収入	155	70	△ 85	(注6)
雑収入	648	881	233	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,954	2,284	330	(注8)
引当金取崩	—	16	16	(注9)
長期借入金収入	5,192	3,319	△ 1,873	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
目的積立金取崩	63	63	—	
計	50,097	49,643	△ 454	
支出				
業務費	38,703	38,931	228	
教育研究経費	22,004	20,619	△ 1,385	(注11)
診療経費	16,699	18,312	1,613	(注12)
施設整備費	7,551	5,098	△ 2,453	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	463	424	△ 39	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,954	2,063	109	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,426	1,356	△ 70	(注16)
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	32	32	(注17)
計	50,097	47,904	△ 2,193	
収入－支出	—	1,739	1,739	

○予算と決算の差異について

(注1)運営費交付金については、予算段階で予定していなかった、前年度からの繰越金、給与改定臨時特例法に基づく国家公務員の給与削減と同等の給与削減及び補正予算の措置により、予算額に比して決算が54百万円少額となっております。

(注2)施設整備費補助金については、(医・歯病)病棟事業の工期延長による繰越し等により、予算額に比して決算額が580百万円少額となっております。

(注3)補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が122百万円多額となっております。

(注4)授業料、入学金及び検定料収入については、授業料の減収等により、予算額に比して決算額が18百万円少額となっております。

(注5)附属病院収入については、新入院患者数の増による病床稼働率の向上、入院・外来診療単価の上昇、手術件数の増加等により、予算額に比して決算額が1,455百万円多額となっております。

(注6)財産処分収入については、指宿農場、垂水実験地等の土地の売却が見送られたため、予算額に比して決算額が85百万円少額となっております。

(注7)雑収入については、動物治療収入、施設使用料等の増により、予算額に比して決算額が233百万円多額となっております。

(注8)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等及び寄附金の受入が増えたため、予算額に比して決算額が330百万円多額となっております。

(注9)引当金取崩については、予算段階では計上していなかった退職引当金を取崩したため、予算額に比して決算額が16百万円多額となっております。

(注10)長期借入金収入については、(医・歯病)病棟事業の工期延長による繰越し等により、予算額に比して決算額が1,873百万円少額となっております。

(注11)教育研究経費については、(注1)に示した給与削減等による人件費の減少及び業務達成基準を適用した事業の繰越し等により、予算額に比して決算額が1,385百万円少額となっております。

(注12)診療経費については、(注5)に示した理由による見合の医療費等の増及び診療に必要な医療機器整備費の増等により、予算額に比して決算額が1,613百万円多額となっております。

(注13)施設整備費については、(注2、注10)に示した理由により、予算額に比して決算額が2,453百万円少額となっております。

(注14)補助金等については、(注3)に示した理由により受入額は増額したものの、複数年度にまたがる補助金について翌事業年度への繰越しを行ったため、予算額に比して決算額が39百万円少額となっております。

(注15)産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注8)に示した理由により受入額が増加したこと等により、予算額に比して決算額が109百万円多額となっております。

(注16)長期借入金償還金については、借入額減少及び予算段階では把握できなかった借入利率の確定等により、予算額に比して決算額が70百万円少額となっております。

(注17)国立大学財務・経営センター施設費納付金については、職員会館「天心荘」の土地の売却に伴う納付を行ったことにより、予算額に比して決算額が32百万円多額となっております。